

## < 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

# ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第55回

ナガバヤナギ



ナガバヤナギはヤナギ科に属する低木で、寒冷地に自生しており北海道にも自生する記述があります。

葉は長く羽状の葉脈で先端がとがっており、春先にヤナギに特徴的なふわふわの花を開きます。ヤナギの仲間は古くから抗炎症、痛み止めとして使われてきたことからセイヨウシロヤナギからサリシンが活性成分として単離されました。しかし、副作用が強いためサリシンをモデルとしてアスピリンが合成されました。126年前のことです。

本画はサワビーによる1790年代の作品です。